日本パリソン株式会社 姫路工場に太陽光発電システムを導入

~中部電力ミライズの太陽光オンサイト PPA サービスを活用~

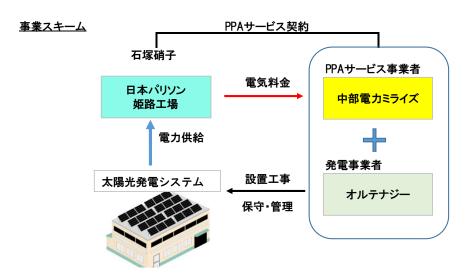
石塚硝子株式会社(以下、石塚硝子)と、中部電力ミライズ株式会社(以下、中部電力ミライズ)は、太陽光オンサイト PPA サービス契約(以下 PPA サービス^{※1})を締結し、このたび、グループ会社である日本パリソン株式会社の姫路工場(以下、日本パリソン姫路工場)に、「太陽光発電システム」を導入して、本年 6 月より稼働を開始したことを、お知らせいたします。



日本パリソン株式会社・姫路工場に設置した太陽光発電システム

今回導入した太陽光発電システムは、2024 年 4 月に稼働を開始した、日本パリソン姫路工場の 敷地内に新築した工場棟、粉砕棟、厚生棟の3か所の屋根(計 約 7,800 平方メートル)に太陽光パ ネルを設置し、総出力910kW で年間 1,175Mwh の発電量を見込んでいます。これにより日本パリ ソン姫路工場は、消費電力の約5%²²を再生可能エネルギーに置き換え、一般家庭約208世帯の 年間排出量²³に相当する CO₂約539t²⁴を削減見込です。

なお今回の PPA サービスは、中部電力ミライズが設置する太陽光発電設備で発電した電力を、 石塚硝子に直接売電[※]することで投資回収するものです。太陽光発電システムの設計・施工は、 発電事業者である株式会社オルテナジー(以下、オルテナジー)が行いました。設置後の保守メン テナンスも、オルテナジーが行います。日本パリソン姫路工場は、海に隣接しており、塩害や汚れ 等の影響による発電量の低下を防ぐため、年1回の定期パネル洗浄を行う保守契約となっています。



当社は、2023 年 6 月に認定された SBT(Science Based Targets) にもとづき、再生可能エネルギーの活用拡大など持続可能な脱炭素社会の実現に取り組んでいます。今回の日本パリソン姫路工場への太陽光発電システム導入はその一環となります。

今後、石塚硝子岩倉工場や、グループ会社にも太陽光発電システムを順次導入するなど、自社の事業活動に伴う CO。排出量削減に向け様々な取り組みを計画的に実施していく予定です。

2022 年度からの中期経営計画の重点ポイントの1つとして「環境と調和した持続可能な未来社会への貢献」³⁶⁶を掲げて、その実現を目指しています。具体的には、当社グループにおいて、省エネ・省資源の推進、再生可能エネルギーの調達、リサイクルへの取組強化などを実施して、事業活動に伴う 002 排出量削減に取り組んでまいります。

※IPPA とは Power Purchase Agreement の略で、需要家と発電事業者の間で締結する電力購入契約のことです。オンサイト PPA とは発電事業者が需要家の敷地や屋根上に太陽光発電システムを設置し、そこで発電した電力を需要家に販売するモデルをいいます。

※・環境省の令和4年度家庭部門の ∞2排出実態統計調査より、世帯あたりの年間 ∞2排出量を 2.59t として算出しております。 https://www.env.go.jp/content/000211408.pdf

**4002 削減量は、中部電力ミライズのホームページにて公表されている 002 排出係数 0.459kg 002/kWh を用いております。(2022年度事業者全体の調整後排出係数適用)

※姫路工場の電気需要者契約は、石塚硝子が中部電力ミライズと契約し、日本パリソン株式会社と遠東石塚グリーンペット株式会社に 電力供給をしております。

***SBT 認証取得に伴う[SHZUKA GROUP 2030]及び「2024 年度中期経営計画」の重点ポイントの一部変更について https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS70076/beae59a8/60db/4742/9741/8d1e3b848d30/140120230728529479.pdf

【当件に関するお問い合わせ先】 石塚硝子株式会社 環境部

TEL:0587-37-7490

e-mail:kankyo igk@ishizuka.co.jp

以上

^{※2}稼働実績がないため、年間の想定消費電力との比較となります。